

生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	便潜血陽性高齢者における大腸内視鏡検査省略可能例の探索：単施設後ろ向き研究	
1. 研究の目的と方法	本研究は、85歳以上の方で便潜血検査（便に血が混じっていないかを調べる検査）が陽性となり、大腸内視鏡検査を受けた方を対象に、その検査がどの程度有用であったかを明らかにすることを目的としています。 当院で過去に行われた診療記録をもとに、大腸がんや治療が必要な病変が見つかった割合を調べるとともに、過去に大腸内視鏡検査で異常がなかった方では、今回の検査が省略できる可能性があるかについて検討します。 本研究は既存の診療情報を用いた後ろ向き研究であり、新たに検査や治療を行うことはありません。	
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2028年3月31日まで、研究の実施を予定しています。	
3. 対象となる方等	東京慈恵会医科大学西部医療センター（旧：第三病院）において、2013年1月1日から2026年4月20日までの間に、便潜血検査（便に血が混じっていないかを調べる検査）が陽性となり、大腸内視鏡検査を受けた75歳以上の方。 そのうち、85歳以上の方を主解析対象群、75歳以上85歳未満の方を対照群とします。	
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	試料は使用しません。
	(2) 試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。
	(3) 情報の種類	本研究では、診療録（電子カルテ）および内視鏡検査の記録から、以下の情報を使用します。 ・年齢や性別、これまでのご病気（持病）などの基本情報 ・症状の有無や、便潜血検査（便に血が混じっていないかを調べる検査）の結果 ・これまでに受けた大腸内視鏡検査の有無や時期 ・今回の大腸内視鏡検査の結果（がんやポリープなどの有無）、血液検査データ ・検査後に行われた治療の内容（内視鏡治療や手術など） ・検査に伴って起こった合併症（出血、腸に穴があく、鎮静に伴う体調変化など） なお、これらの情報は個人が特定できないよう加工したうえで使用します。

	(4) 情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 当施設の 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学 内科学講座 消化器・肝臓 内科
		氏名	澁谷尚希
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥	
	(3) 当施設の 試料・情報の 管理責任者	(1)の研究責任者と同じ	
(4) 共同で研究 を実施する 施設とその 責任者	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。		
6. 試料・情報を他 機関とやり取り することについ て	この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。 情報の利用開始予定日：2026年6月頃～		
【問い合わせ先】	機関名：東京慈恵会医科大学西部医療センター 内科学講座 消化器・肝臓内科 研究責任者：助教 澁谷 尚希（しぶや なおき） 窓口担当者：助教 澁谷 尚希（しぶや なおき） 電話番号：03-3480-1151（内線 9556） 対応時間：平日 9：00～17：00		

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。